



平成30年5月15日

各 位

会 社 名 トレイダーズホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 金丸 勲
(JASDAQ・コード 8704)
問合せ先 執行役員 財務部長 朝倉 基治
(TEL 03-4330-4700 (代表))

連結決算における営業外費用及び特別損失の発生、個別決算における特別損失の発生並びに通期連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、下記の通り営業外費用の発生、特別損失の発生、及び平成30年2月14日に公表いたしました平成30年3月期の通期連結業績予想値と実績値との間に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 連結決算における営業外費用及び特別損失の発生について

・持分法による投資損失（連結）

当社持分法適用会社である株式会社ZEデザインの当第4四半期連結会計期間（平成30年1月1日～平成30年3月31日）の損失計上により、18百万円を持分法による投資損失として営業外費用に計上いたしました。その結果、当連結会計年度（平成29年4月1日～平成30年3月31日）における持分法による投資損失は63百万円の計上となりました。

・減損損失（連結）

平成27年12月に株式会社ZEエナジー（以下、「ZEエナジー」といいます。）を完全子会社化する際に発生したのれんについて、同社の業績が当初策定の計画を下回って推移していること等を勘案して、今後の事業計画を見直し回収可能価額を検討した結果、当第4四半期連結会計期間において、減損損失として1,440百万円を計上いたしました。

・契約解除損失及び契約解除損失引当金繰入額（連結）

当社の子会社であるZEエナジーが、エア・ウォーター株式会社と締結した『安曇野バイオマスエネルギーセンター』の木質バイオマスガス化発電装置の売買契約が平成29年7月31日に解除されたことに伴い、同契約解除により発生した同発電装置の撤去費用及び保管費用等を第3四半期連結累計期間（平成29年4月1日～平成29年12月31日）までに契約解除損失として641百万円計上しましたが、当第4四半期連結会計期間において発生した費用18百万円を契約解除損失として特別損失に計上し、当連結会計年度の契約解除損失は659百万円の計上となりました。

また、当連結会計年度末時点で、平成30年4月1日以降、同発電装置の保管等で発生が見込まれる費用19百万円を契約解除損失引当金繰入額として特別損失に計上いたしました。

2. 個別決算における特別損失の発生について

・関係会社株式評価損（個別）

当社が保有するZEエナジー及び 트레이ダーズ証券株式会社(以下、「トレーダーズ証券」といいます。)株式の実質価額が著しく下落することとなったため、当第4四半期連結会計期間の個別決算において関係会社株式評価損 2,545百万円を特別損失に計上いたしました。

なお、個別決算において、関係会社株式評価損を特別損失として計上いたしますが、連結決算において当該処理は全額消去されることから、連結業績への影響はありません。

・貸倒引当金繰入額（個別）

上記当社が保有するZEエナジー株式の株式評価損計上に伴い、ZEエナジーに対する貸付金に関して貸倒引当金の計上が必要と判断し、当第4四半期連結会計期間の個別決算においてZEエナジーの債務超過相当額まで貸倒引当金繰入額 2,050百万円を計上いたしました。

なお、個別決算において、貸倒引当金繰入額を特別損失として計上いたしますが、連結決算において当該処理は全額消去されることから、連結業績への影響はありません。

3. 通期連結業績予想値と実績値との差異

平成30年3月期の通期連結業績（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

（単位：百万円）

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	2,000	△1,350	△1,580	△2,260	△26円05銭
実績値 (B)	1,728	△1,573	△1,812	△3,959	△45円43銭
増減額 (B-A)	△272	△223	△232	△1,699	
増減率 (%)	△13.6	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成29年3月期)	3,004	△1,248	△1,424	△1,433	△18円04銭

<差異が生じた理由>

平成30年2月14日に公表いたしました業績予想値は、平成30年3月期第3四半期連結累計期間（平成29年4月1日～平成29年12月31日）の業績を踏まえた数値ですので、差異が生じた理由は、下記のとおり当第4四半期連結会計期間の実績値が予想値と乖離したことによるものです。

営業収益は、予想値2,000百万円に対して実績値1,728百万円と272百万円減少しました。これは主に、トレーダーズ証券の当第4四半期連結会計期間のFXトレーディング収益がFX相場低調の影響を受け実績値が予想値を291百万円下回ったことによります。

営業損失は、予想値1,350百万円に対して実績値1,573百万円と損失幅が223百万円拡大しました。これは主に、上記FXトレーディング収益が272百万円減少したことに加え、ZEエナジーにおける『もがみ町里山発電所』等の追加工事により完成工事原価の実績値が予想値を52百万円上回り営業損失幅を拡大させることとなったものの、一方でトレーダーズ証券の広告宣伝費の実績値が予想値を77百万円下回る等、販売費及び一般管理費の実績値が予想値を102百万円下回ったこと等で営業損失幅の拡大を抑えたことによります。

経常損失は、予想値1,580百万円に対して実績値1,812百万円と損失幅が232百万円拡大しました。これは主に、営業損失の予想値と実績値の差異が223百万円あったこと等によります。

親会社株主に帰属する当期純損失は、予想値2,260百万円に対して実績値3,959百万円と損失幅が1,699百万円拡大しました。これは主に、経常損失の予想値と予想値の差異が232百万円あったことに加え、当第4四半期連結会計期間において、上記「1. 連結決算における営業外費用及び特別損失の発生について ・減損損失（連結） ・契約解除損失及び契約解除損失引当金繰入額（連結）」に記載いたしました減損損失1,440百万円、契約解除損失18百万円及び契約解除損失引当金繰入額18百万円を特別損失に計上したことによります。

以上